

教育センター通信

ほ ど 火床の火の心を紡ぐ

第3号(通算 140 号)
令和 8 年 6 月 30 日

三条市教育委員会
教育センター発行

小中一貫教育
トップページ



令和8年4月13日(月)

三条嵐南学園「小中合同避難訓練」



1年間を通じて全ての教職員で個と集団を成長させる

学校教育課 統括指導主事 古澤 正雄

学校には、毎日様々な思いを抱えながら登校してくる子どもたちがいます。新しいことへの期待や挑戦への意欲に胸を膨らませている子。反対に、友達との関係に悩む子、学習に不安を感じている子、自分のよさに気付けずにいる子もいます。

私たち教育に携わる者に求められていることは、そのような一人一人の思いや変化を丁寧に受け止め、誰一人取り残すことなく成長を支えていくことです。そして、その支援は特定の教職員だけが担うものではなく、全ての教職員が子どもを見守り、組織として支えていくことによって実現されます。

学校生活の基盤となるのは学級です。子どもたちが安心して学び、互いを認め合いながら成長していくためには、温かく支持的な人間関係に支えられた学級づくりが欠かせません。子どもたちの声に耳を傾け、実態を的確に把握することが重要です。

三条市では、これまでのWEBQUに代わり、今年度から全市立学校で共通項目による学校生活アンケートを毎月実施しています。このアンケートでは、友人関係や学習意欲、学級への所属感など、多面的に児童生徒の状況を把握することができます。毎月継続して実施することで、小さな変化やサインを見逃さず、いじめや不登校の未然防止、早期発見につなげることを目指しています。実際に、今年度の生徒指導・学校運営訪問で訪れた学校で「いじめの兆候を早期にアンケートで発見し、校内対策委員会で共有して対応した結果、問題が大きくなる前に解決できた」という声をいただきました。

大切なのは、アンケートを実施すること自体ではありません。結果から見てくる一人一人の思いを全ての教職員で共有し、子どもに寄り添った支援につなげることです。数値やグラフの向こう側には、必ず子どもの声があります。

子どもたちが「明日も学校へ行くのが楽しみ」とワクワクする学校、一人一人の子どもを大切にす教育を、全ての教職員の力で実現していきましょう。

学園の 取組紹介

母校をサポート・しっかり応援！ － 総会・春の全体研修会／上林小運動会ボランティア －

三条学園



学園職員が一堂に会して行われた総会・研修会



母校の運動会を一生懸命サポート

5月18日（月）総会・春の全体研修会を行いました。学園の教職員が裏館小学校に集まり、推進計画を確認、共有しました。今年度も、小中の9年間を見越した授業づくりや共同活動の推進等を通して、自分と地域のつながりを実感し、未来を切り拓く学びの具現化に努めていくことを確認しました。

5月23日（土）上林小学校出身の第三中学校1年生22人が、母校の運動会ボランティアに参加しました。中学生は運動会への参加や準備、運営の仕事を行い、役に立つ喜びを感じて自己有用感を高めること、小学生は中学生の姿を見て、中学生への憧れを抱き、中学校生活への期待と希望をもつこと等を目指しました。

運動会当日、中学生は各種目の採点、用具準備や後片付け、徒競走のスタート補助等を行い、競技の進行をサポートしました。中学生は小学生に対して一生懸命応援し、地域の人を含めこれまで培われてきた絆を感じることができました。閉会式の感想発表では、中学生が「ボランティアに呼んでもらって嬉しかった。来年もよい運動会になってほしい。」と感想を述べ、母校への愛着や活動の達成感の高まりが感じられました。

瑞穂学園

職員交流から始める小中一貫教育 － 学園職員研修会 －



和やかな雰囲気に進んだ職員交流

5月15日（金）キッズウィークの日に瑞穂学園の教職員が本成寺中学校に集まり、学園職員研修を実施しました。

「自他を尊重し、夢や目標の実現に向かって努力する子ども」を目指し、9年間を通して求める児童・生徒像の実現を目指して知・徳・体の3分野で今年度の重点と取組を確認しました。その後、職員研修として9年間のカリキュラムの共有、一人一実践の授業公開に向けた協議を行いました。協議の前にまず、小中学校の職員同士が仲良くなることを目的に、飲み物やお菓子の軽食を交えながら趣味や特技などの自己開示をしました。同じ教科で研修を深めるため、意見交換がしやすい関係を構築しました。小中学校の先生方は、子どもたちの様子や反応を思い浮かべながら、和気あいあいと授業について話し合っていました。今後子どもたちの笑顔が楽しみです。

様々な場面での前後期生の交流 － 双華会総会／前期体育祭 －

大崎学園

大崎学園では、義務教育学校の利点を生かし、様々な場面で前期生と後期生の交流を行っています。

5月20日（水）、双華会総会（生徒総会）を行いました。大崎学園では、5年生から9年生が参加します。学園生は、タブレットで議案書を見ながら総会に参加しました。後期だけでなく前期の委員長も、今年度の委員会での活動内容を堂々と表明しました。

5月23日（土）、前期課程体育祭を開催しました。特徴として、後期生の応援があります。後期生が温かい目で前期生のがんばりを応援していました。前期生は、後期生の応援にパワーをもらい、全力を出してがんばりました。



大勢の学園生の前で堂々と発表



前期生の頑張りを応援する後期生

**教育センター研修
ウォッチ！**

小中一貫教育マネジメント研修

令和8年5月12日（火）開催

各学校の小中一貫教育コーディネーターを中心に、4月の学園長会議での熊倉教育長講話の動画を視聴した後に、「コーディネーターとして、小中一貫教育の更なる充実に向けてできること」をテーマに、学園ごとを基本としたグループにて協議を行いました。

自校・自学園の取組を紹介し合うと共に、「交流活動」や「キャリア教育」、「小中一貫教育カリキュラム」などに係る取組をどのように充実させていくかについて、熱心な議論が行われました。

【参加者振返りの抜粋】

- ・三条市の小中一貫教育について理解を深める貴重な機会となった。グループ協議では、主に交流活動について意見交換をすることができた。新たに得たヒントやアイデアを今後活かしていきたい。
- ・小中一貫教育の再創造の視点を得ることができた。当学園では、9年間の学びの連続についての認識がアンケート結果では低いので、どのように伝えるかが課題だと考えていた。今回の研修で、キャリア教育の各小学校での取組内容を中学校とほかの小学校で共有することが必要だと考えた。



熱心なグループ協議の様子



協議内容を発表し合う様子

特別支援教育研修①

令和8年5月26日 (火) 開催

県立月ヶ岡特別支援学校 齋藤 洋美 様を講師に「個別の指導計画の作成と活用並びに自立活動の指導」について研修しました。個別の指導計画作成のポイントや自立活動の効果的な指導について具体的に学ぶことができました。自身の指導を振り返り、今後の授業改善につながる研修となりました。



【参加者感想抜粋】

- ・「できない」「分からない」ではなく、「なぜできないのか」と内側の原因を考え、「どうしたらできるようになるのか」を指導することが自立活動の指導であると思いました。職員間でも、「できないこと」を話すのではなく、6区分の視点から子どもを捉え直し、「どうしたらできるのか」を話し合っていきたいと思います。
- ・自立活動の指導が全ての教育活動の土台になっていることを学び、その重要性を再認識することができました。
- ・自立活動では何を指導すればよいのか悩みながら2ヶ月過ごしてきたので、この研修で学んだことをいかし、子どものでこぼこを埋めてさらに伸ばす自立活動を考えていきます。

授業力向上実践研修 Step1・2

理想の授業を求めて 教師力アップ!

教育センター主催の研修講座「授業力向上実践研修 Step1・2」は、昨年度から一部悉皆を含めた「希望研修」へと変更しました。今年度も多くの受講者が1年間という長期の研修に取り組みます。

5月末の学習会①(オンライン)では、開講式で教育センター長が、受講者への期待を伝えました。また、昨年度の受講者代表が、温かい激励の言葉を受講者に伝えました。また、研修では、授業を支える学級経営についての講義や受講者の目指す授業についての情報交換を行いました。現在、Step1研修では参観訪問が行われ、授業づくりや学級経営等について研修しています。

マンツーマン指導のよさを最大限生かし、教師の学びを日々の授業改善と子どもの成長につなげます。



【Step 研修年間スケジュール (イメージ)】

1 学期

学習会① 参観訪問①(S1)



2 学期

学習会② 参観訪問②・振り返り(S1)

研究授業(S2)



3 学期

論文執筆(S2)

